

山形県立博物館の概要

1 施設概要

山形県立博物館（山形市霞城町、本館、昭和46年開館）

敷地面積 6,012㎡（うち駐車場370㎡）

建物延面積 4,230㎡（地下1階、地上2階、ペントハウス1階）

職員数 館長、副館長2、学芸員・研究員7、技術員8、事務職員8 計26名（分館含む）

山形県立博物館教育資料館（山形市緑町、分館、昭和55年開館）

山形県立博物館附属自然学習園（山辺町畑谷、天然記念物「琵琶沼」、昭和51年開設）

2 めざす博物館像

「創り、分かち合い、伝える博物館」

3 運営方針

- (1) 魅力的な展示、企画づくり
- (2) 資料の調査・研究及び保存・整理の充実
- (3) 社会教育、大学との連携、支援
- (4) 学校教育との連携支援
- (5) 積極的な情報発信、広報活動の展開

4 重点項目

- (1) 特別展及び企画展、教育普及活動の充実による満足度の向上
- (2) デジタル技術の活用による博物館の機能強化
- (3) 収蔵資料の整理、データベース更新
- (4) 積極的な情報発信等の広報活動の充実による来館者数の増加
- (5) 学芸員の資質・能力の向上

5 収蔵資料などの概要

7部門（地学、植物、動物、考古、歴史、民俗、教育）、3施設（本館、分館、琵琶沼）を要する総合博物館。収蔵資料数は30万点以上（データベース登録予定資料含む）。

【各部門の公開資料数（令和6年4月1日現在）】

部門	自然系部門			人文系部門				文献 その他	計
	地学	植物	動物	考古	歴史	民俗	教育		
品数	11,828	75,453	41,105	11,890	26,013	11,508	40,633	43,254	261,684

(1) 自然系各部門の特色と主な収蔵品

① 地学部門 (約1.2万点)

〔特色〕 ヤマガタダイカイギュウやハダカモミジガイ、クジラなど県内から産出したものを多く収蔵。全体に対する県内産の割合は、化石78%、岩石66%。化石・岩石ともに県内の地層を反映し、新生代新第三紀(約6600万年前以降)のものが最も多い。

〔主な収蔵品〕 ・ ヤマガタダイカイギュウ化石 <県指定天然記念物>
・ ハダカモミジガイ (ひとでの化石) <県指定天然記念物>
・ そろばん玉石 <県指定天然記念物>

② 植物部門 (約7.5万点)

〔特色〕 収蔵品には、山形県産維管束植物が絶滅種も含めてほぼ網羅されている。また明治・大正時代に作られた維管束植物標本が多く収蔵されており、それらは過去の植生を知る上で大変貴重。

〔主な収蔵品〕 ・ 結城嘉美、加藤元助、山下一夫、佐藤泉らのコレクション

③ 動物部門 (約4.1万点)

〔特色〕 山形県総合学術調査会で収集した動物資料を基本に発足。その後、石沢コレクション鳥類標本、世界各地の蝶や貝類など多くの寄贈資料を受け入れた。山形県内の昆虫、特に蛾類の標本も充実。

〔主な収蔵品〕 ・ 山形県産動物標本、石沢慈鳥コレクション鳥類標本
・ 木俣繁コレクション蛾類標本、加藤繁富コレクション
・ 鈴木稔コレクションほかの貝類標本
・ 大石道明、黒沼孝一コレクションなどの蝶類標本 など

(2) 人文系各部門の特色と主な収蔵品

① 考古部門 (約1.2万点)

〔特色〕 主に県内の考古資料について収蔵・保管・展示。山形県に人が住み始めた旧石器時代の資料(飯豊町上屋地遺跡)から縄文時代の土器・石器、弥生時代、古墳時代の土器など多数収蔵し、展示や出張博物館などの普及事業に役立てている。また、縄文土偶の「縄文の女神」について、隔月で展示解説会を実施。

〔主な収蔵品〕 ・ 土偶(縄文の女神)舟形町西ノ前遺跡出土 <国宝>
・ 生石2遺跡出土弥生土器 <県指定有形文化財>
・ 大之越古墳出土品 <県指定有形文化財>

② 歴史部門 (約2.6千点)

〔特色〕 山形県の歴史を物語る古文書類、絵図類を中心に収蔵。県内の旧家や寺院に伝わった資料が多く、各地域の行政・経済・文化などを知る手がかりとなる。絵図類には「羽州川通絵図」など最上川舟運に関するもの、「湯殿山道中一覽」など出羽三山に関するものなど。

- [主な収蔵品] ・ 江戸～昭和期の山形県に関する古文書類
・ 「羽州川通絵図」 <県指定文化財>などの絵図類

③ 民俗部門 (約1.2千点)

[特 色] 本館第2展示室「米づくりとそのこころ」「農家のいろりばた」に代表されるように、古くから農業県として発展してきた山形の人々の暮らしにまつわる民具を多数収蔵。また、県内各地の郷土玩具（こけし、土人形、凧などのコレクションを含む）や焼き物、雪害調査所関係資料は、県全体を網羅する豊富な収集により、近代山形の伝統と暮らしを知ることができる貴重な収蔵品。

- [主な収蔵品] ・ ニセミノ <県有形民俗文化財>
・ 雪害調査所関係資料ほか

④ 教育部門 (約4.1万点)

[特 色] 教育資料館（分館・教育部門）の建物は、国指定重要文化財「旧山形師範学校本館」。江戸時代から現代に至るまで、山形県の教育に関する歩みを展示・紹介。

- [主な収蔵品] ・ 江戸時代～昭和期「教科書コレクション」約12,000点を収蔵。

6 事業実績 (令和5年度) ※詳細は別添「令和6年度山形県立博物館報」のとおり

(1) 企画展、特別展

- 第5回やまはくセレクション展 R5. 3. 4～5. 14
- 特別展「Bones -生き物の骨格はどうなっているのか-」 R5. 6. 3～8. 27
- プライム企画展「高等女学校と実科高等女学校 -青春の学びと生活-」 R5. 9. 30～12. 10
- 第6回やまはくセレクション展 R6. 3. 2～5. 12

(2) 教育普及事業

- 企画展・特別展関連事業（展示解説会、記念講演、記念イベント）
- 講座・教室等（博物館講座、古文書講座、特別開館、ナイトミュージアム等）
- 友の会事業（友の会講演会、講座）

(3) 博学連携

- 高校生学芸員一日体験講座
- 博物館実習見学（大学生、学芸員資格取得）
- 総合学習出張授業等
- 職場体験学習受入れ（インターンシップ）
- 教員研修（高等学校中堅教員等資質向上研修など）
- 出張講座（東北芸術工芸大学歴史遺産学科） 等

(4) 他館への資料貸出・展示

- マムロガワクジラ化石（真室川町立歴史民俗資料館）
- 国宝土偶「縄文の女神」（北海道博物館）

(5) 東北文化の日協賛イベント

- 高校生による音楽発表会

(6) 山形文化の回廊フェスティバル協力

- ワークショップ出展

(7) 本館の入館状況

月	開館日数	有料入館者									無料入館者					合計	
		個人入館者			団体入館者			小計			減免分		使用許可・共催等	無料公開	講座その他		小計
		成年	未成年	計	成年	未成年	計	成年	未成年	計	件数	人数					
4	26	1,721	42	1,763	0	0	0	1,721	42	1,763	2	24	0	668	52	744	2,507
5	26	1,476	59	1,535	0	0	0	1,476	59	1,535	12	556	0	579	796	1,931	3,466
6	26	1,581	56	1,637	0	0	0	1,581	56	1,637	44	1,529	0	355	151	2,035	3,672
7	26	1,915	101	2,016	43	0	43	1,958	101	2,059	8	345	0	956	594	1,895	3,954
8	26	3,195	227	3,422	0	0	0	3,195	227	3,422	4	47	0	1,292	174	1,513	4,935
9	22	1,387	111	1,498	23	0	23	1,410	111	1,521	9	271	0	209	126	606	2,127
10	26	1,695	110	1,805	113	0	113	1,808	110	1,918	21	1,007	0	453	665	2,125	4,043
11	26	1,611	62	1,673	0	0	0	1,611	62	1,673	15	427	0	452	572	1,451	3,124
12	23	852	44	896	24	0	24	876	44	920	3	170	0	191	68	429	1,349
1	23	676	70	746	0	0	0	676	70	746	2	22	0	309	355	686	1,432
2	25	1,195	96	1,291	0	0	0	1,195	96	1,291	5	190	0	300	102	592	1,883
3	27	1,187	172	1,359	73	0	73	1,260	172	1,432	3	136	0	437	679	1,252	2,684
計	302	18,491	1,150	19,641	276	0	276	18,767	1,150	19,917	128	4,724	0	6,201	4,334	15,259	35,176
年度	297	15,967	1,394	17,361	306	0	306	16,273	1,394	17,667	160	5,665	0	5,512	2,879	14,056	31,723
比較	5	2,524	244	2,280	-30	0	-30	2,494	-244	2,250	-32	-941	0	689	1,455	1,203	3,453